アメニティのリサイクルを促進

ＪＴＢ商事や東京マツシマなど
宿泊施設支援の〝協会〟設立

ＪＴＢ商事や東京マツシマなどの商社、メーカーによって設立された「アメニティ・リサイクル協会」では、今夏をめどに歯ブラシなどのマテリアルリサイクルのスキームを稼働させる。「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が昨年4月に施行。旅館・ホテルでは特定プラスチック製品5品目（ヘアブラシ、カミソリ、歯ブラシ、シャンプー類、シャワーキャップ）の使用の合理化、廃プラスチックごみ排出の抑制と、使用後のプラスチックを資源として再利用するためのリサイクルの推進が求められている。同協会は、リサイクルを推進しようとする旅館・ホテルにスキームへの参画を呼び掛けている。

アメニティグッズは、これまでメーカー各社がそれぞれ特性の異なる複数の原料を使用した製品を販売し、リサイクルがしにくいという課題があった。この課題を放置すれば、環境への意識が高まるなか、プラスチックのアメニティ自体の販売がなくなっていくのではないか。そうした危機意識から、宿泊施設のアメニティグッズに関わる複数の商社、メーカーが競合の垣根を超えて、昨年11月24日にアメニティ・リサイクル協会を設立した。

同協会は、製品ガイドラインを含む適正なマテリアルリサイクルを通じてＳＤＧｓの観点から、アメニティグッズの品質向上と宿泊業に関わる業界全体の発展を図るとともに、マテリアルリサイクルを行う宿泊施設を支援することを目的とする。アメニティグッズにおけるバリューチェーン（調達、製造、販売、提供、回収）に携わる企業が一体となり、資源循環に取り組むことで、カーボンニュートラル社会への貢献へ寄与することを目指す。ビジョンは「廃棄物ゼロのおもてなしへ」。

2月時点の参画企業は、商社がＪＴＢ商事、東京マツシマ、国際興業、よねや商会の4社、メーカーが山陽刷子、昭和刷子、ダイト、ＶＣ工業の4社。東京マツシマ代表取締役社長の大槻務氏が代表理事を務める。

カーボンニュートラル社会の実現へ

構築中のマテリアルリサイクルスキームでは、「マテリアルリサイクルしやすくするための原料の統一化」「法律を遵守した資源回収方法の確立」「安心安全な循環型アメニティグッズの製品化」「宿泊施設の手間を極力減らした回収手順の設定」を推進していく。

具体的なスキームの流れとして宿泊施設では、宿泊客に協力を求め、使い終わった歯ブラシなどをゆすいで、分かりやすい場所に置いてもらう。それをルームメイクが回収。使用後の商品は衛生面の問題を考え、滅菌袋とポリ袋の2重で包み、商品納品時の段ボールに入れる。その段ボールが満杯になったら着払いの宅配便で再資源化工場に送る。ホテルが送った使用後の品は、協会が原料として買い取る。

工場では異物除去や洗浄、粉砕などを行い再資源化。メーカーがそれを原料として協会の定めるガイドラインに基づきアメニティグッズを製造する。完成したアメニティグッズは、商社から宿泊施設に販売。商品のパッケージにはリサイクル原料で作られたことを示す協会認定マークが付けられる。

再資源化スキーム、今夏めどに開始
まず歯ブラシ、ヘアブラシから

マテリアルリサイクルスキームは、今夏をめどにスタートさせる方針。特定5品目のうち、まずは歯ブラシ、ヘアブラシから取り組む。

これまで歯ブラシなどを再利用するという実績がないことから、協会では当面は再資源化した原料の51％を使うというガイドラインを作成。今後の研究で100％に近づける。「マテリアルリサイクル」「パッケージの簡素化」「軽量化」を推進し30年までにすべての製品をサスティナブル素材へと切り替え、新規化石由来プラスチックゼロを目指す。

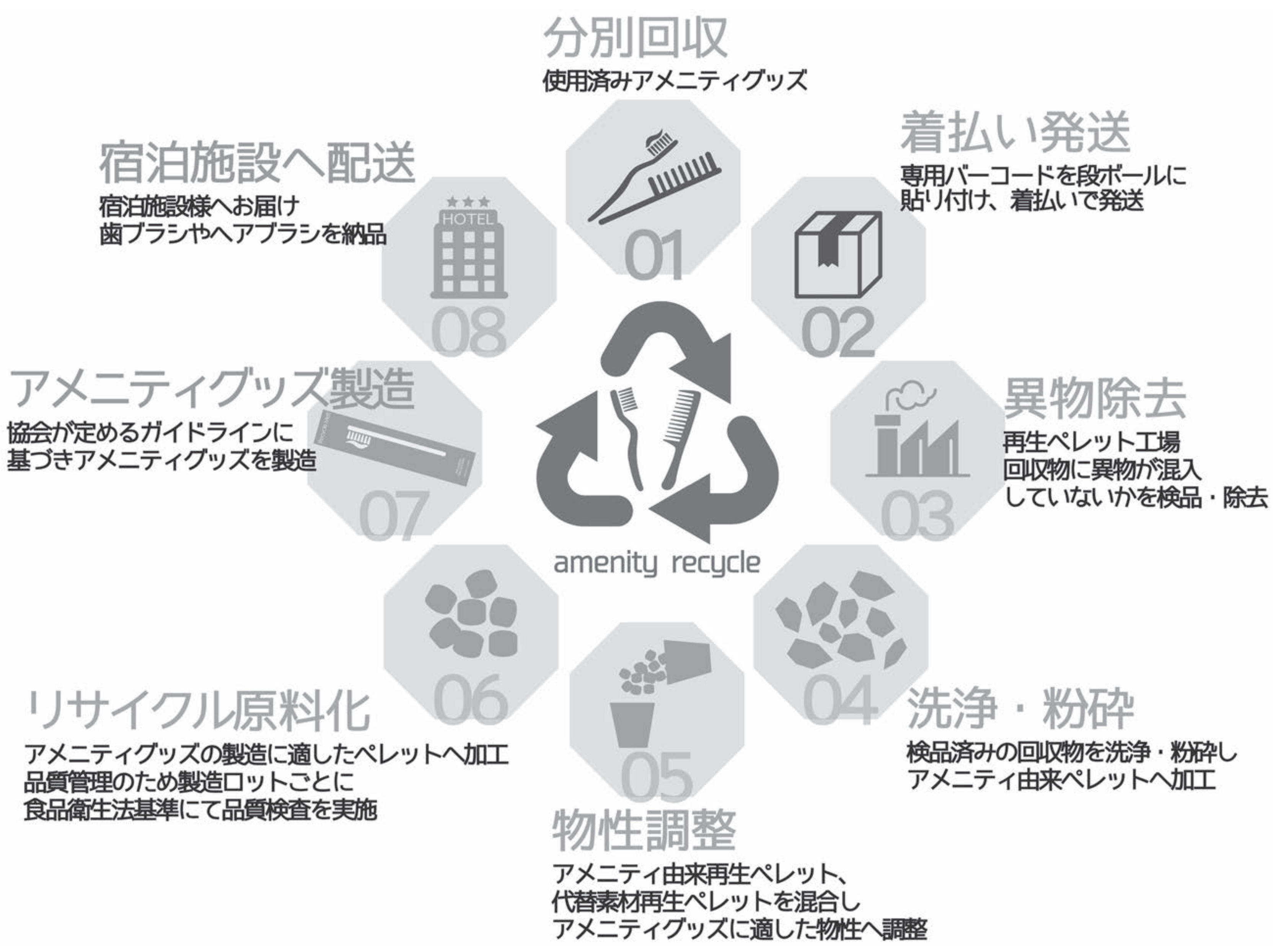
宿泊施設向けにＰＯＰも作成。歯ブラシをすすぐなど宿泊客にアメニティのリサイクルへの協力を求める内容だ。ＰＯＰデータは同協会ＨＰからダウンロードできる。

このスキームに旅館・ホテルが参画するメリットは大きい。環境に対しての自社の考え方のアピールになるし、廃棄物がなくなるので産廃にかかるコストも削減できるという。協会認定マークをホームページなどで使用することも可能だ。

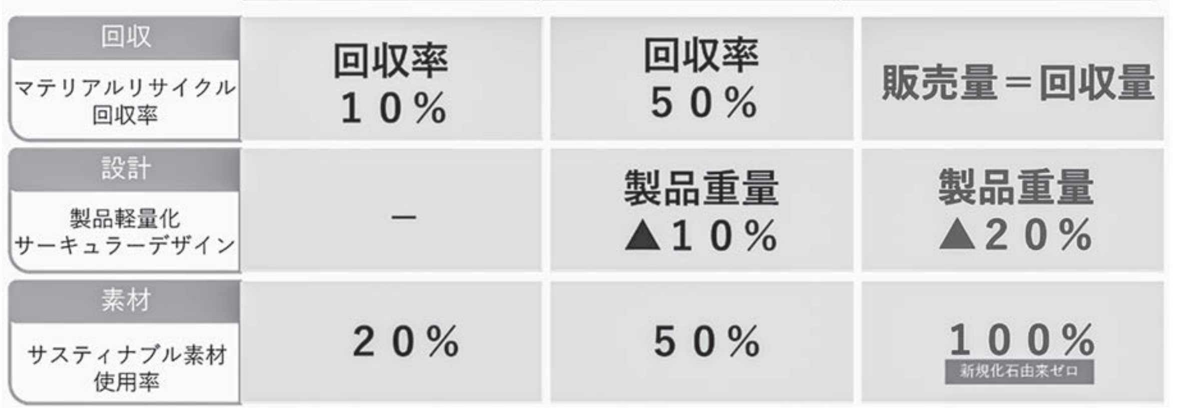
同協会は、2月7～10日に東京ビッグサイトで開催された「国際ホテル・レストラン・ショー」に出展。旅館・ホテルから大きな反響があり、旅館・ホテルの参画に手応えを感じている。

同協会の大槻代表理事は「協会のビジョンは『廃棄物ゼロのおもてなしへ』。この取り組みはわれわれだけでは達成できないのでぜひ宿泊施設の皆さんもご参画ください」と呼び掛ける。

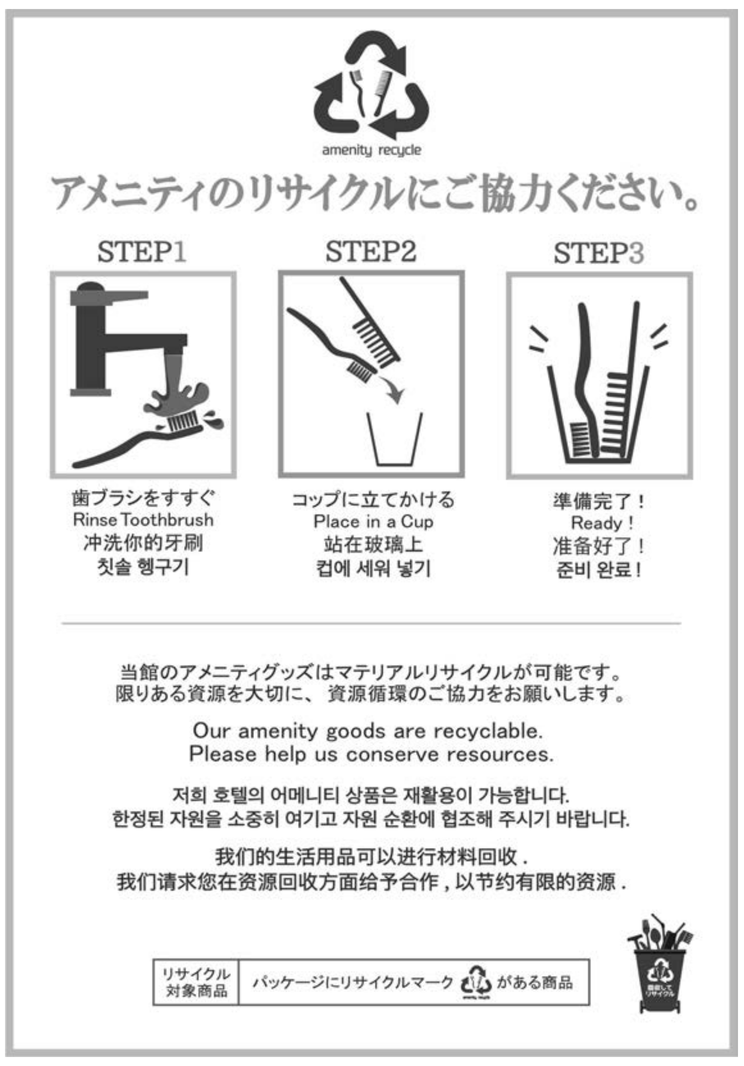
マテリアルリサイクルスキーム


分別回収
使用済みアメニティグッズ
01
着払い発送
専用バーコードを段ボールに貼り付け、着払いで発送
02
異物除去
再生ペレット工場
回収物に異物が混入していないかを検品・除去
03
洗浄・粉砕
検品済みの回収物を洗浄・粉砕し
アメニティ由来ペレットへ加工
04
物性調整
アメニティ由来再生ペレット、
代替素材再生ペレットを混合し
アメニティグッズに適した物性へ調整
05
リサイクル原料化
アメニティグッズの製造に適したペレットへ加工
品質管理のため製造ロットごとに
食品衛生法基準にて品質検査を実施
06
アメニティグッズ製造
協会が定めるガイドラインに
基づきアメニティグッズを製造
07
宿泊施設へ配送
宿泊施設様へお届け
歯ブラシやヘアブラシを納品
HOTEL
08
amenity recycle

アメニティグッズの2030年ビジョン



	2022年	2025年	2030年
回収 マテリアルリサイクル回収率	回収率 10％	回収率 50％	販売量＝回収量
設計 製品軽量化 サーキュラーデザイン	―	製品重量 ▲10％	製品重量 ▲20％
素材 サスティナブル素材使用率	20％	50％	100％ 新規化石由来ゼロ


amenity recycle
アメニティのリサイクルにご協力ください。
STEP1
STEP2
STEP3
歯ブラシをすすぐ
Rinse Toothbrush
冲洗你的牙刷
칫솔 헹구기
コップに立てかける
Place in a Cup
站在玻璃上
컵에 세워 넣기
準備完了！
Ready！
准备好了！
준비 완료！
当館のアメニティグッズはマテリアルリサイクルが可能です。
限りある資源を大切に、資源循環のご協力をお願いします。
Our amenity goods are recyclable.
Please help us conserve resources.
저희 호텔의 어메니티 상품은 재활용이 가능합니다.
한정된 자원을 소중히 여기고 자원 순환에 협조해 주시기 바랍니다.
我们的生活用品可以进行材料回收．
我们请求您在资源回收方面给予合作，以节约有限的资源．
リサイクル対象商品
パッケージにリサイクルマークがある商品
同協会のホームページからダウンロードできる宿泊施設向けＰＯＰ

応募受け付け中
第26回「人に優しい地域の宿づくり賞」

「人に優しい地域の宿づくり賞」とは

この賞は、地域の旅館ホテル（個人参加可）や旅館ホテル組合が参加又は主催する活動で、高齢者等をはじめ、全ての人々にやさしい配慮がなされており、地元の団体やボランティアグループ等が、協力しておこなう下記のジャンルを対象とします。そして、その中から選考委員会が審査し、「厚生労働大臣賞」、「全旅連会長賞」をはじめ名誉となる賞を贈るものです。

〈対象ジャンル〉

1、特性を生かした活動（温泉、料理、まちづくり、滞在型等）
2、経済の活性化（情報技術〈IT〉、施設、地域貢献等）
3、歴史･文化の振興（イベント･祭り、趣味等）
4、環境づくりの推進（緑化、清掃、リサイクル、環境保全等）
5、スポーツの振興（体操、ゲートボール、健康増進等）
6、福祉の充実（健康、設備、サービス･接遇、ボランティア等）
7、国際化の推進（インバウンド、インフラ整備等）
8、省エネ･節電の取り組み（冷･暖房の対策、蛍光灯やLED照明への交換等）
9、労働生産性の向上（従業員のやりがい向上、業界･地域への影響度等）
10、その他、人に優しい地域の宿づくり活動と認められるもの

〈応募方法〉

令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）に開催された活動の主催団体は地元旅館組合を経由し、都道府県旅館ホテル生活衛生同業組合に活動の概要及び内容の特徴が示されている写真を添えてお申し込み下さい（エントリー料は無料）。また、参考として新聞等の紹介記事やパンフレット類がありましたら添付して下さい（コピー等の資料はA4判に統一）。なお、電子メールでの応募も受け付けておりますので、「宿ネット」より応募用紙をダウンロードして写真や参考資料のデータと一緒に全旅連のメールアドレスまでお送り下さい。
応募締切：令和5年3月31日（当日消印有効）
※原則として、ご提出いただいた資料の返却はいたしません。
URL（宿ネット）http://www.yadonet.ne.jp　全旅連メールアドレス　ajra@alpha.ocn.ne.jp

【各賞（予定）】

①厚生労働大臣賞	副賞30万円
②全旅連会長賞	副賞20万円
③選考委員会賞	副賞10万円
④観光経済新聞社社長賞	副賞10万円
⑤リクルート「じゃらん」賞	副賞10万円
⑥楽天トラベル賞	副賞10万円
⑦全旅連シルバースター部会長賞	副賞10万円
⑧優秀賞5本	副賞各5万円

【オリジナルエンブレム】

上記受賞施設又は団体にはオリジナルエンブレムが提供されるので、インターネットや印刷物等に掲載して一般消費者の認知度アップが期待できます。

人に優しい地域の宿づくり賞
全旅連会長賞 00th
全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会／0000

大臣賞と会長賞受賞者一覧

第1回:厚生大臣賞＝長野県鹿教湯温泉旅館組合　全旅連会長賞＝静岡県「白壁荘」
第2回:厚生大臣賞＝福島県土湯温泉旅館組合/静岡県「青山やまと」　全旅連会長賞＝北海道登別温泉旅館組合
第3回:厚生大臣賞＝北海道「ホテル網走湖荘」　全旅連会長賞＝群馬県「旅館森の庄」
第4回:厚生大臣賞＝山形県東根温泉協同組合　全旅連会長賞＝福岡県「甘木観光ホテル甘木館」
第5回:厚生労働大臣賞＝大分県別府市旅館組合　全旅連会長賞＝群馬県「ホテルニュー上牧」
第6回:厚生労働大臣賞＝愛媛県道後温泉旅館協同組合　全旅連会長賞＝北海道「ピュア･フィールド風曜日」
第7回:厚生労働大臣賞＝岡山県湯原町旅館協同組合　全旅連会長賞＝岐阜県「高山グリーンホテル」
第8回:厚生労働大臣賞＝宮城県「東鳴子ゆめ会議」　全旅連会長賞＝奈良県「遊景の宿平城･奈良パークホテル」
第9回:厚生労働大臣賞＝静岡県稲取温泉旅館協同組合　全旅連会長賞＝岐阜県「水明館」
第10回:厚生労働大臣賞＝埼玉県「ナチュラルファームシティ農園ホテル」　全旅連会長賞＝千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合
第11回:厚生労働大臣賞＝広島県「福山ホテル支配人会」　全旅連会長賞＝群馬県伊香保温泉旅館協同組合
第12回:厚生労働大臣賞＝新潟県湯田上温泉旅館協同組合　全旅連会長賞＝群馬県「上州力まるごと協議会」
第13回:厚生労働大臣賞＝佐賀県旅館生活衛生同業組合青年部　全旅連会長賞＝岐阜県「ひだホテルプラザ」
第14回:全旅連会長賞=静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合女性部「あけぼの会」
第15回:厚生労働大臣賞=新潟県咲花温泉旅館協同組合　全旅連会長賞=山形県上山市観光物産協会
第16回:厚生労働大臣賞=愛媛県道後温泉旅館協同組合　全旅連会長賞=沖縄県「ホテルゆがふいんおきなわ」
第17回:厚生労働大臣賞=宮城県「ホテル望洋」　全旅連会長賞=新潟県岩室温泉旅館組合
第18回:厚生労働大臣賞=長野県「春蘭の宿さかえや」　全旅連会長賞=愛媛県道後温泉旅館協同組合
第19回:厚生労働大臣賞=熊本県阿蘇温泉観光旅館協同組合　全旅連会長賞=鹿児島県ホテル旅館生活衛生同業組合青年部事業委員会かごしま魚市場ツアー実行委員会
第20回:厚生労働大臣賞=千葉県「割烹旅館清都」　全旅連会長賞=片山津温泉旅館協同組合、山代温泉旅館協同組合、山中温泉旅館協同組合、加賀市観光交流機構
第21回:厚生労働大臣賞=熊本県旅館ホテル生活衛生同業組合　全旅連会長賞=鹿児島県「温泉ホテル中原別荘」
第22回:厚生労働大臣賞=千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合　全旅連会長賞=山形県「鈴の宿 登府屋旅館」
第23回:厚生労働大臣賞=月岡温泉旅館協同組合･月岡温泉観光協会･合同会社ミライズ　全旅連会長賞=大分県旅館ホテル生活衛生同業組合
第24回:厚生労働大臣賞=沖縄県「ホテルゆがふいんおきなわ」　全旅連会長賞=群馬県「ホテル松本楼」
第25回:厚生労働大臣賞=山梨県「富士レークホテル」　全旅連会長賞=奈良県「山代屋」

〈主催〉全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会 **〈共催〉**都道府県旅館ホテル生活衛生同業組合 **〈後援〉**厚生労働省
〈協賛〉（株）JTB、（株）リクルート、（株）産経新聞社、（株）観光経済新聞社、（株）柴田書店、楽天（株）、日本航空（株）、全日本空輸（株）
〈協力〉全旅連シルバースター部会、全旅連青年部 **〈選考委員会〉**シルバースター審査委員、学識経験者、関係諸団体代表者等をもって構成
〈選考のポイント〉1、いきがい 2、おもいやり 3、よろこび 4、あたたかさ 5、やすらぎ
〈表彰〉愛媛県松山市にて開催される第101回全旅連全国大会において表彰

“シルバースター”
2つの「S」でハート（真心）を表現した看板を掲げてみませんか？

高齢社会を迎え、シルバー市場が関心を集めております。
高齢者専門の旅館制度ではなく、高齢者に優しい施設やサービス提供などの“優しい心”を示すもの。大旅館から小さな旅館までの全ての宿泊施設が対象となっておりますので、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会では多くの旅館・ホテルの加入を求めております。

シルバースター
全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

登録旅館募集中

〈お問い合わせ〉
〒102-0093　東京都千代田区平河町2-5-5　全国旅館会館4階
全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会
電話：03-3263-4428　FAX：03-3263-9789
URL（宿ネット）http://www.yadonet.ne.jp/